



三鷹中央通信

2018年 Vol.26

夏号

三鷹中央リハケアセンター『運営理念』

「在宅生活への復帰」と「自立支援」を
目指したリハビリを行います。
障害をお持ちの方の人間としての尊厳を守ってお世話をいたします。
明るく家庭的な雰囲気、地域や家庭との
結びつきを重視した運営を行います。

三鷹中央病院『医療理念』

地域医療の第一線を担う病院であることを誇りにもち
いつでも どなたでも診療いたします。
常に親切・安心・質の高い医療の提供を心がけ、
事故のない病院をめざします。



日本医療機能評価機構
三鷹中央病院は、平成29年1月
に日本医療機能評価機構3rdG:
Ver1.1の認定を受けました。

新任のご挨拶

三鷹中央病院 看護部長 西 三代子



このたび、山蔭副院長兼看護部長の後任として5月1日より三鷹中央病院に勤務しております、看護部長の西三代子と申します。長きにわたり看護部を支え、地域の皆様を大切にしてこられた山蔭部長の後を任されるのはとても重責でございますが、私なりにできることをこつこつと積み上げていきたいと考えております。

私は、急性期総合病院で40年近く勤務し、その大半を看護管理者として務めてきました。管理者である前に私の看護師の原点は、新人看護師時代の高齢女性患者さまとの関わりにあります。その方は腸閉塞で入院され禁食の指示が出ておりましたが、「私の命は長くない。最後に好きなものを食べたい」と話され、医師の許可を得て食べていただくことができました。この場面から、人生の最終段階においても患者さま自身が選択できること、答えは患者さまの中にあることを実感しました。

当院の理念の中にも「患者さまの訴えを素直に受け止めて、診療内容をわかりやすく説明し、最善の医療を提供します」とあります。説明と同時に患者さまの選択があります。まさに意思決定を支える医療・ケアに努めていく必要があり、ご高齢の患者さまを多く受け入れている当院では認知機能への配慮もしつつ、患者さま・ご家族の思いに寄り添える看護

護を目指していきたいと考えています。

地域包括ケアシステムの中での当院の役割は大きく、急性期病院として救急患者さまを積極的に受け入れており、さらに地域包括ケア病床の運用により地域のクリニックや施設からの要請に常に対応できるよう努めています。当院の看護職や補助者一人一人が地域医療に貢献している自負を持つことで、地域の皆様の信頼に値するケアの提供につながることを考えています。

当院は関連施設や訪問診療・訪問看護もあり在宅医療や介護にも強い組織です。病院の看護職として治療がスムーズに適切に受けられるように支援することはもちろんですが、予防という観点から私たちができることをさらに深め、良いケアを提供できるように努めていきたいと考えています。

これからも三鷹中央病院をよろしくお願い申し上げます。



新任のご挨拶



特別養護老人ホーム ケアコート武蔵野
施設長 平尾 圭司

初めまして、平成30年5月1日付でケアコート武蔵野の施設長に就任いたしました平尾圭司と申します。前任の施設長 芦立明義はケアコート武蔵野の開設直後から約10年の長期間に渡り、施設運営をリードして来られました。4月30日付で定年退職されました。

私は、前任の施設長が築かれた施設組織、文化に敬意を払いながら、現在の課題に対応すべく組織や体制、仕組みを刷新して行くことが、当面の使命であると考えております。

さて、私が仕事に取り組み際に大切に考えている事があります。それは、理念の大切さです。私が社会に出たのは30年以上前の事です。現在でも時々、最初に就職した会社の経営理念や社是を思い出します。また私の履歴を振り返りますと、その理念や社是が自身の指針となり、現在の仕事のスタイルや流儀を作っているように思えます。

不易流行（ふえきりゅうこう）という言葉があります。これは松尾芭蕉がまとめ上げた蕉風俳諧の理念で、「不変の真理を知らなければ基礎が確立せず、変化を知らなければ新たな進展がない」という意味になります。人の心に訴える不変のものを「不易」と表し、それを表現する手段や手法の工夫を「流行」としたもので、どちらが大事ということではなく、両方とも物事を極める時には大切な要素であると説いています。

この不易とは、企業の存在意義、企業が存続するための大義であり、大義は最終的には世の中の役に立つことであると私は理解しております。

「理念なき行動は凶器であり、行動なき理念は無価値である」と、ホンダの創業者 本田宗一郎は言っておりますが、行動こそが本物か偽物かを分けるポイントとなります。

ケアコート武蔵野の基本理念は「人を大切にし、心のこもったサービスの提供を目指します」であり、これが事業を運営して行くための不易（大義）となります。

私は、この基本理念を飾りものではなく、企業文化として落とし込んでいきたいと考えております。また職員が基本理念に基づいたサービス提供が習慣化するよう、仕組みの見直し人事考課の見直しに取り組みたいと考えております。

介護老人福祉施設を取り巻く環境は厳しさを増し、出口が分からない迷路に入っている感がありますが、このような時代背景の中にあるからこそ、理念経営で舵を取りながら、より良いサービスの提供をめざし、地域へ貢献できるような、責務を果たして行くことが大切だと考えます。私自身、高齢者福祉の分野では若輩者ですが、一意専心して職務に取り組んで参る所存です。引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

平成30年度介護報酬改定後のリハビリ科の取り組みについて

三鷹中央リハケアセンター
リハビリテーション科
理学療法士主任 小島 雄己

4月からの介護報酬改定により、新年度を新たな気持ちで迎える間もなく忙しい日々が始まりました。近年の改定では『在宅支援』が強く打ち出されており、介護老人保健施設の入所では『在宅復帰・在宅療養支援』、通所ではリハビリ職が中心となりその方の生活を多職種協同で支援する『リハビリマネージメント』というキーワードが着目され、手厚い報酬が設定されています。

リハビリ科の業務は介護報酬改定の度に増え続け、リハビリ職が関わるものが収益につながるため苦労や重圧も多いですが、やりがいのある仕事と捉え、日々の業務に励んでいます。

今年度の改定はまだスタートしたばかりで形になっていない部分もありますが、リハビリ科の取り組みについてご紹介したいと思います。

通所リハビリにおいては、平成27年度の改定から「リハビリマネージメント加算Ⅱ」が新設されました。これは、リハビリ室での機能訓練を漠然と続けるのではなく「リハビリを行うことで生活がどう変わるのか?」「何を目標にリハビリを実施しているのか?」などを医師、ケアマネージャー(CM)、在宅で関わっている看護師や介護士の方々と、定期的に会議の場を設け、共通の認識を持ち支援していくという加算です。今回の改定ではこのリハマネ加算が4段階に細分化され、

点数もより高く設定された一方で、毎回の基本利用費は抑制されました。よって周囲の理解と協力を得た上でこの加算を算定していかないと、今後の通所リハビリの運営は厳しいものが予想されます。

リハビリ会議の開催にあたり、利用者様の他のサービスを把握するCMに個々の療法士が連絡を取るなど、外部への働きかけや日程調整などが必要になります。また『通所リハビリ計画書』という必須の書類も新形式になり、作成にかかる時間も大幅に増えました。こうして4、5月が慌ただしく過ぎ、少しずつ慣れてきたところです。

リハビリ会議は大変ですが、改めて生活状況や興味のある活動など身体機能以外の情報を集めることで、「なぜリハビリが必要なのか?」という原点に戻り、生活全般を見られるようになったので、非常に意義のある業務だと実感しています。これからはもっと地域他職種の方に、通所リハビリがどう変わったのか、リハケアセンターの取り組みについて知っていただき、顔の見える関係を築いていきたいと考えます。

通所リハビリは通所介護とは異なり、医師、看護師、リハビリ職が手厚く配置されている在宅のサービスです。施設で過ごす時間全てがリハビリにつながるように全職員で関わりを持っていく、そのような施設を目指して参ります。



◎三鷹中央病院

住所：〒181-0012 東京都三鷹市上連雀5-23-10
Tel：0422-44-6161 (代) Fax：0422-48-9009

☆患者様の訴えを素直に受けとめて、
診療内容をわかりやすく説明し、最善の医療を提供します。

診療科：内科・循環器内科・内分泌科・呼吸器内科・呼吸器外科・腫瘍内科・
外科・消化器内科・消化器外科・肛門外科・脳神経外科・整形外科・
皮膚科・泌尿器科・眼科・血液内科・神経内科・乳腺外科・
リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

人間ドック・特定検診・禁煙指導

診療時間：月～土曜日 /am9:00～12:00 pm2:00～5:30
日曜・祝日 /am9:00～12:00 (救急外来は24時間受付)

病床数：一般病床122床(看護職配置基準7対1)110床、地域包括ケア12床)

その他：ふれあい診療所 Tel：0422-79-1313
三鷹ふれあい訪問看護ステーション Tel：0422-48-6031
ふれあいデンタルクリニック Tel：0422-29-8242



◎三鷹中央リハケアセンター

住所：〒181-0013 東京都三鷹市下連雀9-2-7
Tel：0422-70-0700 (代) Fax：0422-70-0701

☆心のもった介護、看護、リハビリテーションを提供し
「在宅生活への復帰」と「自立支援」を目指します。

ベッド数：100床(一般療養100床)

4床室/19室 2床室/1室 個室/22室

施設設備：機能訓練室(207.00㎡) 機械浴室(男女別) 自立浴室

その他：通所リハビリテーション(定員60人) Tel：0422-70-0700
訪問看護ステーション Tel：0422-70-1055
居宅介護支援事業所 Tel：0422-70-1066



◎ケアコート武蔵野

住所：〒180-0023 東京都武蔵野市境南町5-10-7
Tel：0422-39-0390 (代) Fax：0422-39-0392

☆利用者の皆様にとっても、そして職員にとっても、
楽しく生きがいの持てる施設づくりを目指しています。

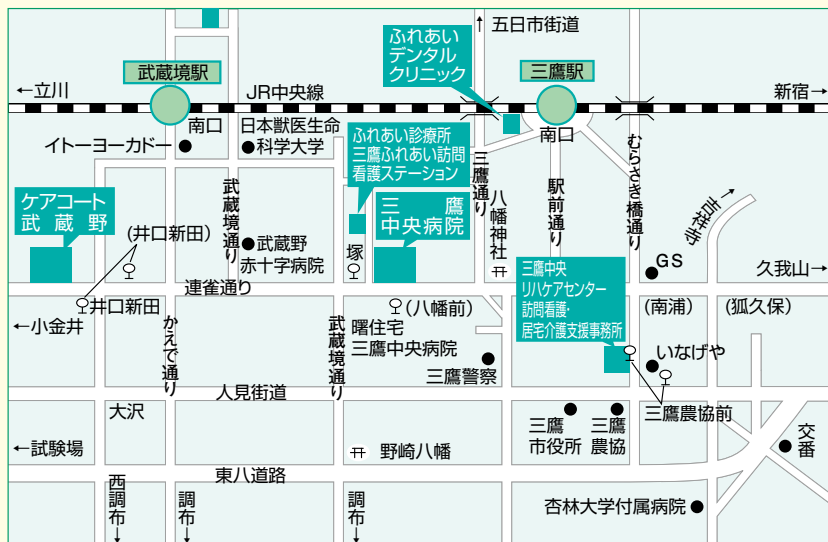
入所数：80床(9ユニット)

事業内容：特別養護老人ホーム 72床(8ユニット)
短期入所生活介護 8床(1ユニット)

特徴：○全室個室のユニットケアを実施します。
○「安心」「安全」「快適」な空間と人を大切にしたい
サービスの提供に努めます。



ACCESS



三鷹中央病院

JR中央線 三鷹駅(南口)

- 小田急バス ②「新小金井駅」行
②「武蔵境営業所」行
②「調布駅北口」行
『曙住宅・三鷹中央病院前』下車徒歩1分
○タクシー(1区間)

三鷹中央リハケアセンター

JR中央線 三鷹駅(南口)

- 小田急バス ⑧「野ヶ谷」行
『MCC三鷹ビル前』下車徒歩1分

JR中央線吉祥寺駅(南口)

- 小田急バス ⑧「調布駅北口」行
『MCC三鷹ビル前』下車徒歩1分

京王線 仙川駅(北口)

- 小田急バス ①「三鷹駅」行
『三鷹農協前』下車徒歩1分

ケアコート武蔵野

JR中央線 武蔵境駅(南口)下車(徒歩15分)

- 小田急バス ③「狛江駅・狛江営業所」行
④「吉祥寺駅」行
『井口新田』下車徒歩1分